

恒久平和の実現に向けて

富士見市長 星野光弘

罪のない多くの方々の大切な命を一瞬

で奪った原子爆弾が、広島・長崎に投下されてから、今年で72年になります。しかし、今もなお、世界では核兵器が存在し、各地では内戦や紛争により絶え間なく戦火が上がり、人々に深い悲しみと憎しみをもたらしています。

私は、7月に開催されたピースフェスティバルの前に、市役所本庁舎正面入り口そばに建立されている「平和の鐘」を鳴らさせていただきました。その高く澄

んだ鐘の音を聞いてみると、核兵器のない

平和な世界が一刻も早く訪れることを願わずにはいられません。我が国は、世界で唯一の被爆国として、戦争の悲惨さや恐ろしさ、そして何よりも命の尊さを世界中の人々に訴え、再びこのような悲劇を絶対には繰り返さないようにしなければなりません。現代を生きる我々には、時の経過とともに失われつつある戦争や原爆の悲惨さと恐ろしさを、後世に語り継いでいく責任があります。

富士見市非核平和都市宣言

私たちは 何よりも家庭の平和を願い世界の平和を願っています。

しかし 地球をおおっている核兵器は世界の平和と安全を脅かしています。

私たちは 広島・長崎の過ちを再び繰り返させるはなりません。

私たちは 平和憲法を大切にし、世界中の人びとと手をつなぎ核をもつすべての国に「今すぐ核兵器を捨てよ」と訴えます。

この市民の声と願いを非核平和都市富士見市の宣言とする。

1987年7月19日 富士見市

黙とうを捧げましょう

市では、原子爆弾や第2次世界大戦で犠牲になられた方々のご冥福と、核兵器をなくし平和な世界が実現することを願い、次の日時に防災無線を通じ、市民の皆さんに1分間の黙とうのご協力をお願いしています。

広島市原子爆弾投下日 8月6日午前8時15分

長崎市原子爆弾投下日 8月9日午前11時2分

終戦記念日 8月15日正午

市では、昭和62(1987)年7月に「富士見市非核平和都市宣言」を行いました。同年に「日本非核宣言自治体協議会」に、そして、平成21(2009)年12月には「平和首長会議」に加盟しました。国内の自治体、さらには世界の加盟都市と手を結び、世界恒久平和の実現を目指し、核兵器廃絶を連帯して訴えてきました。また、私は来る8月9日(水)に、市民の皆様への想いを胸に、「被爆72周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」に参列し、原爆犠牲者の御霊に謹んで哀悼の誠を捧げるとともに、恒久平和の実現を強い決意で誓ってまいります。そして、これからも核兵器のない平和な世界の実現に向け、さらなる努力を続けてまいります。

皆様におかれましても、終戦の日の8月15日前に「富士見市非核平和都市宣言」を読み返していただき、大戦で奪われました尊い命に思いを馳せ、多くの方々のこれまでの取組みやご苦労のうえに、今日の平和を享受していることに心から感謝するとともに、二度とこのような過ちが起らないよう平和について考える機会にさせていただきたいと思っております。

日本非核宣言自治体協議会

核戦争による人類絶滅の危機から生命と暮らしを守り、世界恒久平和実現を世界の自治体に呼びかけ、その輪を広げるために努力することを目的として昭和59年に設立されました。平成29年6月2日現在、325の自治体が会員となっています。

富士見市 1987年加盟

平和首長会議

核兵器廃絶の市民意識を国際的な規模で喚起し、世界恒久平和の実現に寄与することを目的として、広島・長崎市が中心となり昭和57年に設立されました。平成29年7月1日現在、全世界162か国・地域7,392都市が賛同し、加盟しています。



富士見市 2009年加盟